

令和6年度 長野県高等学校総合体育大会サッカー競技大会 要項

1. 競技方法

- 1) トーナメント方式とし、3位決定戦を行わない。
- 2) 試合時間は80分(女子70分)とする。同点の場合は20分の延長を行い、決しない場合はPK方式とする。
- 3) ハーフタイム(HT)のインターバルは10分(女子8分)とする。延長戦・PK方式へのインターバルは3分とし、延長戦のHT(水分補給時間)のインターバルは1分以内とする。

2. 競技規定

- 1) (公財)日本サッカー協会制定の最新の競技規則による。
- 2) 選手の交代は、事前に提出された9名(女子12名)の交代要員の中から5名(HTを除き、後半の交代回数は3回)認められる(延長の場合は、1回の回数が増加できる。後半終了と延長戦の間、また延長戦のHTにも行うことができ、交代回数を用いたとしてカウントしない)。
- 3) 退場を命じられた選手・スタッフ及び今大会中に2度の警告を受けた選手・スタッフは次の1試合に出場できず、以後の処置については(公財)日本サッカー協会の懲罰規定に基づき長野県高等学校体育連盟サッカー専門部で協議し決定する。
- 4) 男子の部において、優勝チームには令和6年度全国高等学校総合体育大会サッカー競技大会への長野県代表としての出場権が与えられる。また、優勝、準優勝チームには令和6年度北信越高等学校体育大会サッカー競技大会への長野県代表としての出場権が与えられる。女子の部において、優勝チームには令和6年度北信越高等学校体育大会サッカー競技大会への長野県代表としての出場権が与えられる。
- 5) 危険事象(地震・落雷等)発生時の試合運営に関する判断については、危険と判断した場合には躊躇なく試合を中止、中断する。試合再開は大会本部が収集した情報をもとに危険性がないと判断した後、速やかに試合を再開する。再開できない場合のうち、残り時間が後半の2/3(67分)を過ぎている場合は、試合成立として扱う。試合の成立が認められない場合は、別途日程にて再試合を行う。ただし、1回戦については翌日に2回戦が予定されているため、抽選により次回進出チームを決定する場合もある。

3. 諸注意

- 1) 登録選手の変更は、自チーム初戦の70分前までに、所定の用紙を用いて本部に提出する。なお、変更した選手の高体連への追加登録がある場合は、「高体連登録入力シート」を印刷し、一緒に提出する。
- 2) 大会使用球は本部で用意する。各チーム会場運営費として3,000円を試合当日に納入する。
- 3) ベンチは、組み合わせ表の番号の若いチームがピッチに向かって左とする。また、ベンチ入り人数は、男子の部は最大27名(選手20名、役員最大5名+生徒マネージャー)とし、女子の部は最大30名(選手23名、役員最大5名+生徒マネージャー)とし、メンバー表に氏名が記載された者とする。なお、登録選手はチームスタッフ、マネージャーに加えることはできない。
- 4) 各チームの代表者は、試合の70分前に本部席に集合し**メンバー表3部と選手証**を提出する。その際、FP・GKともに正副2種のユニフォーム(シャツ・ショーツ・ソックスともに異色とする)を持参し主審の判断を仰ぐ。準決勝・決勝戦においては試合開始70分前に代表者ミーティングを行う。
- 5) 用具点検は試合開始5分前から本部前で行う。ハーフタイムのピッチ内練習については、人工芝グラウンドは可とする。
- 6) ゴミは持ち帰りとし、使用した箇所の清掃も含めて各チームで責任をもって対処する。

4. 開会式

5月24日(金)筑北村サッカー場の第1試合用具点検直後に行う。前年度優勝チーム松商学園高校と第1試合の対戦校で行う。この試合のみ用具点検を10分前に行う。

【開会式次第】

- 1) 選手役員整列 2) 優勝杯返還 3) 長野県高等学校体育連盟サッカー専門部長挨拶 4) 選手役員解散

5. 表彰式

5月25日(土)女子準決勝各試合終了後、3位チームの表彰を行う。

6月1日(土)男子準決勝各試合終了後、3位チームの表彰を行う。

6月2日(日)決勝戦終了後、男女ともに決勝戦進出の2チームで行う。

【表彰式次第】

- 1) 選手役員整列 2) 表彰 3) 長野県高等学校体育連盟サッカー専門部長挨拶 4) 選手役員解散

6. その他

大会責任者 長野県高等学校体育連盟サッカー専門委員長 上田東高校教諭 金井 伸明

上田東高校 Tel.0268-22-0101